2017年3月期　決算説明資料

株式会社　ヴィンクス

2017年５月26日

証券コード：3784

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

目次

VINX

1．2017年3月期　決算概要

・決算ハイライト　・・・ P３
・分野別状況　・・・ P４
・2016年度の主なトピックス　・・・ P６

2．中期方針および次年度計画

・中期方針　・・・P１３
・事業方針　・・・P１４
・2017年度 数値計画（連結）　・・・P１５
・新たな数値フレーム計画（連結）　・・・P１６
・当期及び次期の配当見通し　・・・P１７

【補足資料】B／SおよびC／F

・財政状況　・・・P１９
・キャッシュフローの状況　・・・P２０

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

1．2017年3月期　決算概要

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

決算ハイライト

【2016年度総括】

＜売上高＞

既存の主要顧客への積極的な提案を継続して行ってきた結果、案件の受注拡大につながり、
前年値を上回る結果となりましたが、消費税増税の中止等の影響により計画を下回りました。

＜営業利益＞

戦略的に投資を拡大させた結果、前年値を下回る結果となりましたが、営業利益は計画を上回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目名	2016年度実績		計画対比				前年同期比			
	実績値	売上比	計画値	計画比	計画差	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売 上 高	**27,430**	–	28,000	98.0%	▲569	–	27,094	101.2%	335	–
売上総利益	**5,152**	18.8%	5,435	94.8%	▲282	19.4%	5,272	97.7%	▲120	19.5%
販売管理費	**3,843**	14.0%	4,135	92.9%	▲291	14.8%	3,829	100.4%	13	14.1%
営業利益	**1,309**	4.8%	1,300	100.7%	9	4.6%	1,443	90.7%	▲ 134	5.3%
経常利益	**1,243**	4.5%	1,210	102.8%	33	4.3%	1,386	89.7%	▲ 143	5.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	**859**	3.1%	796	107.9%	63	2.8%	805	106.7%	53	3.0%

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

分野別状況

・ソリューション分野の売上高は、大手総合小売業グループの投資抑制により
前年度及び計画を下回りましたが、SM業態の投資増加により、全分野合計としては
前年度を上回りました。
・営業利益は、アウトソーシング分野の効率化が奏功しましたが、プロダクト分野での
研究開発投資の強化等の影響により、全分野合計としては前年度を下回りました。

単位：百万円、％　百万円未満切り捨て

【売上高】	2016年度		計画対比			前年同期比		
分野	実績値	売上比率	計画値	計画比	計画差	前年値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	12,837	46.8%	12,946	99.2%	▲108	13,174	97.4%	▲336
ソリューション分野	7,122	26.0%	8,919	79.9%	▲1,796	7,967	89.4%	▲845
プロダクト分野	1,427	5.2%	1,905	75.0%	▲477	1,627	87.7%	▲199
その他IT関連分野	6,042	22.0%	4,230	142.9%	1,812	4,325	139.7%	1,717
合計	27,430	100.0%	28,000	98. 0%	▲569	27,094	101.2%	335

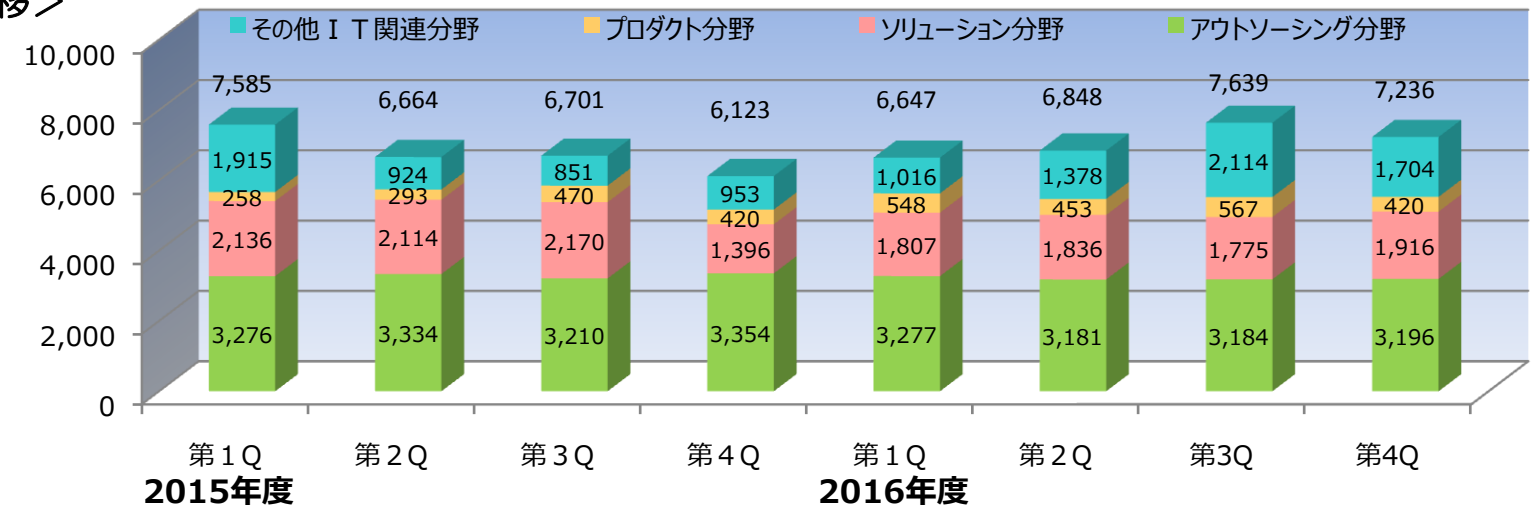
【営業利益】	2016年度		計画対比			前年同期比		
分野	実績値	売上比率	計画値	計画比	計画差	前年値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	734	5.7%	641	114.6%	93	691	106.2%	42
ソリューション分野	458	6.4%	510	89.8%	▲52	551	83.1%	▲93
プロダクト分野	46	3.2%	115	40.0%	▲69	124	37.1%	▲78
その他IT関連分野	69	1.1%	32	214.8%	37	75	92.4%	▲ 5
合計	1,309	4.8%	1,300	100.7%	9	1,443	90.7%	▲134

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

分野別状況

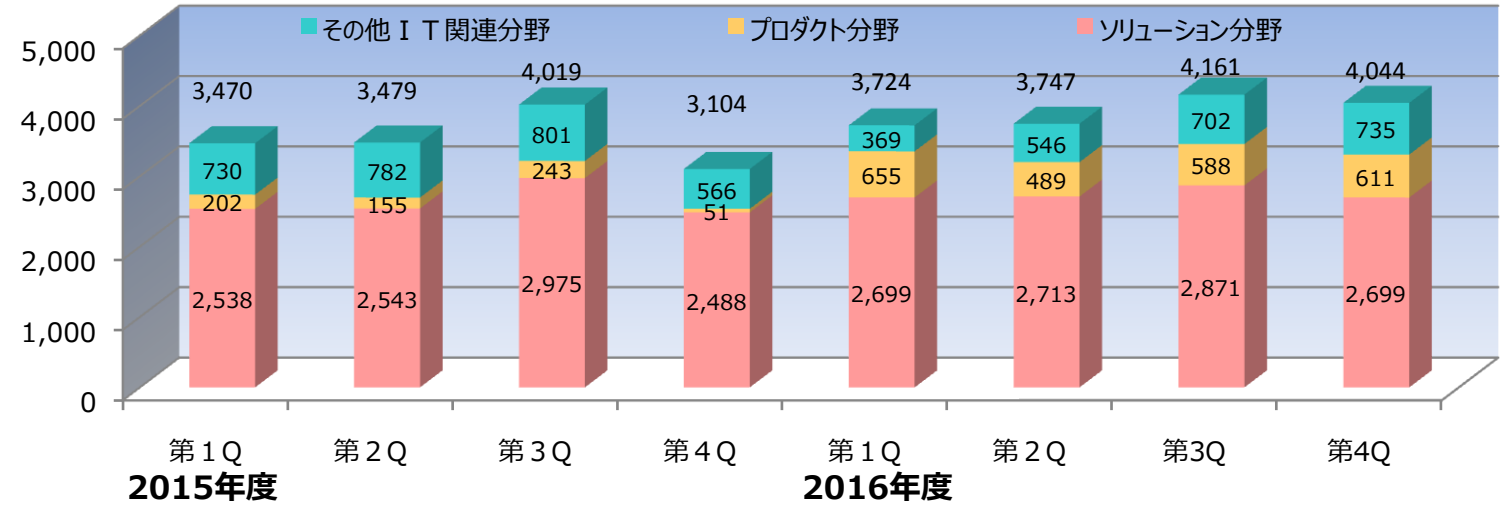
＜受注高の推移＞

（単位：百万円）



＜受注残高の推移＞

（単位：百万円）



注記：アウトソーシング分野つきましては、受注生産型の事業形態ではないため「受注残高」の記載を省略しております。

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

2016年度の主なトピックス

VINX

商品・サービスの差別化戦略

専門店	**POSシステム** 全国に展開する大手総合衣料専門店様より POSアプリケーション案件を受注いたしました。
専門店	**在庫管理システム** 大手の工具専門店様やアウトドア・衣料品専門店様より 在庫管理等の業務システムの案件を受注いたしました。
ドラッグストア	**MD基幹システム** 中国および四国地方を中心に展開する中堅ドラッグストア様にて 本番稼動することが出来ました。

グローバル戦略

流通・サービス	**店舗/基幹システム** 書籍を中心とする大手総合リユース業様の マレーシア新店出店に伴う対応を行いました。
流通・サービス	**テナント管理システム** 中国の大手ショッピングセンター開発・運営会社様より テナント管理システムの案件を受注いたしました。

特定顧客化戦略

スーパーマーケット	**POSシステム** 中国および四国地方を中心に展開する大手スーパー様より 前年に受注したMD基幹システムに加えて新規POS案件を受注いたしました。
スーパーマーケット	**POSシステム機器のリプレイス** 関東地方を中心に展開する大手スーパー様より POSシステム機器のリプレイス案件を受注いたしました。

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

2016年度の主なトピックス　<グローバル戦略>

2016年度はアジアの有力なパートナー様との連携を強化し、受注拡大・当社プロダクトの拡販を実施いたしました。

～ アジアの有力なパートナー様 ～

<香港>
POSシステム開発に
強みのあるソフトウェアベンダー

<台湾>
百貨店様向け基幹システム開発に
強みのあるソフトウェアベンダー

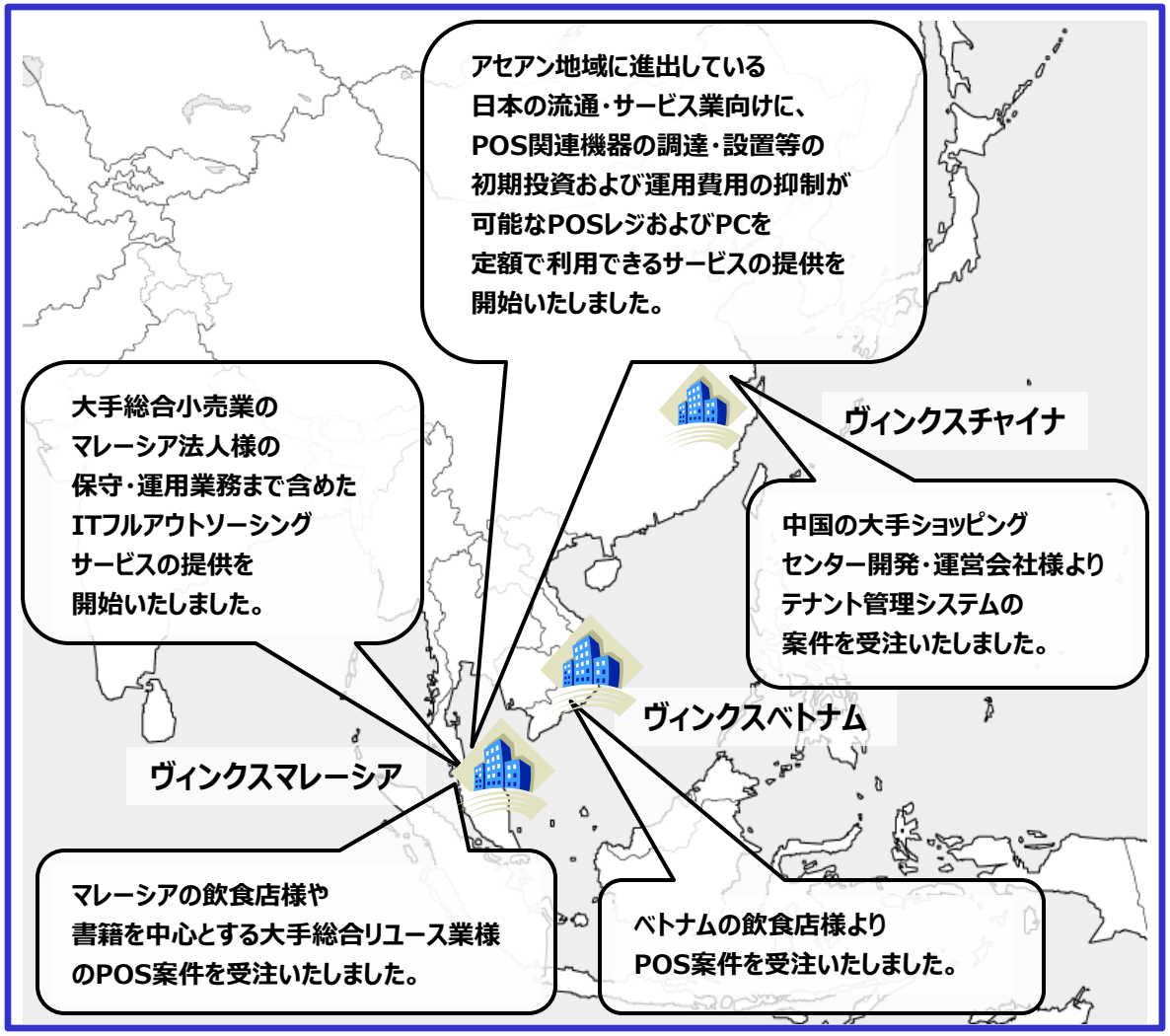
<マレーシア>
流通業向け基幹システム開発に
強みのあるソフトウェアベンダー

<マレーシア>
POS機器等の販売に
強みのあるベンダー

<シンガポール>
ハードウェアとソフトウェアの
販売や保守に強みがあり、
全世界に拠点を持つハードウェアベンダー

<シンガポール>
POSシステム開発とPOS端末機器の
販売に強みのあるベンダー

<タイ>
POSシステムや基幹システム開発に
強みがあり、全世界に拠点を持つ
ソフトウェアベンダー

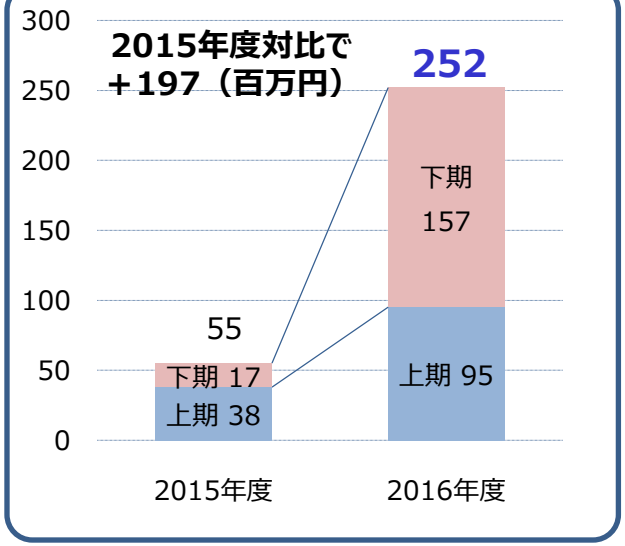


Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

2016年度の主なトピックス＜研究開発等・製品投資の状況＞

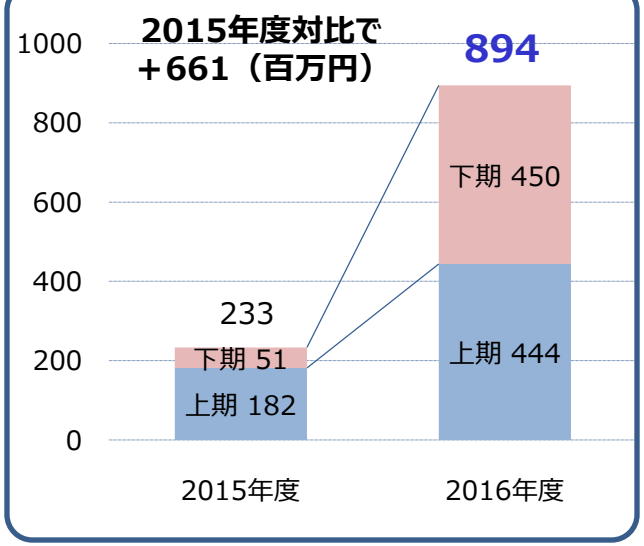
研究開発等

単位：百万円



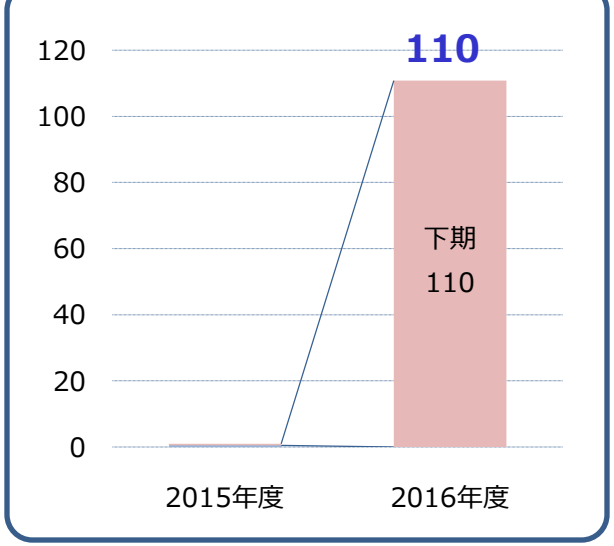
製品投資

単位：百万円



政策投資

単位：百万円



＜2016年度　主な研究開発等＞

概要
専門店向けオムニチャネル ＆基幹システムの研究開発
スーパーマーケット版 『ANY-CUBE Neo』の研究開発
『SoftWareCAT』の 研究開発
ロボットPOS 標準インターフェイスの研究開発
顧客の売上向上に繋がる ソリューション研究開発
グローバル事業推進のための調査

計　252　百万円

＜2016年度　主な製品投資＞

概要
海外向け MD基幹システム開発
大手総合小売業グループ様向け MD基幹システム開発
『ANY-CUBE Neo』に関する 追加開発

計　894　百万円

＜2016年度　政策投資＞

概要
投資有価証券の取得 （カラフルボード株式会社、ホロン株式会社）

計　110　百万円

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

2016年度の主なトピックス＜研究開発等・製品投資の状況＞

新商品のリリース　～2016年 5月～

最新型クラウドPOSシステム『ANY-CUBE®　Neo』を発売

Microsoft AzureをPOSセンターサーバに採用し、
クラウド対応はもとより小売業様の競争力向上を目指し、
POSアプリケーション『ANY-CUBE® 』に新たな差別化機能を搭載しました。

「リテールテックJAPAN 2017」への出展　～2017年 3月～

「進化する“クラウド・モバイル” & “グローバル” リテールプラットフォーム」をテーマに、
業種別(SM,ドラッグストア,専門店様)とグローバル(海外進出企業様)のコーナーに分け、
店舗から本部までのトータルソリューションを展示しました。
また新技術応用ソリューションコーナーを設置し、最新トレンドへの対応をPRしました。

主な展示製品：

＜リテールソリューション＞

次世代POSソリューション	ANY-CUBE Neo
POS・マルチ決済ソフト	SoftWareCAT
顧客ポイント統合ソリューション	Hybrid Satisfa
専門店様向け基幹システム	AP-Vision/Cloud
受注在庫統合ソリューション	VINX-OMS
タブレット型 承り(予約)システム	Smart-Gift
MD自動発注システム	MDware 自動発注クラウド
チェーンストア様向け公式アプリ	店舗アプリ
パーソナルAI	SENSY

＜グローバルソリューション＞

POSソリューション	SEITO Q5 Retail POS
MD基幹システム	MDware-global, Pro-Fit
店舗システムプラットフォーム	Tstore,T-Pos
専門店様向け基幹システム	Global Infrastructure Service
受注在庫統合ソリューション	Global IT Support Service

＜新技術応用ソリューション＞

ロボティクス	POS ロボットインターフェース
AI	MS Cortana Intelligence Suite
	チャットボット さくら
コンティニュアム	Win モバイル POS

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

2016年度の主なトピックス＜資本・業務提携＞

VINX

カラフル・ボード株式会社と資本業務提携

～2017年3月～

人工知能SENSYと弊社の流通小売向けシステムとを連携させ、アパレルをはじめとした小売業へAIを活用したソリューションを提供していきます。

COLORFUL BOARD

SENSY

株式会社ホロンと資本業務提携

～2017年1月～

専門店向けMDシステムAP-Visionと、弊社のPOSシステム・ECシステムを連動させ、オムニチャネル対応システムとして専門店市場に展開していきます。

株式会社ホロン

Holon considers the future of the earth.

AP-Vision

株式会社トランスメディアGPと販売協力

～2016年10月～

流通・サービス業向けスマートフォン用アプリケーション「店舗アプリ」の権利を取得し、ITを活用したプロモーション分野へ参入し、事業拡大を目指していきます。

trancemedia

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

2016年度の主なトピックス＜その他＞

VINX

松山オフィスの開設　～2016年11月～

中国及び四国地方のお客様に対する営業力の強化及び支援体制の充実、
当該地方におけるビジネス基盤の拡充を図るため、松山オフィスを開設いたしました。

＜所在地＞
〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町５番地８ オワセビル２階

＜主な事業内容＞
ソフトウェア開発、システムの導入・展開・教育・運用・保守、ネットワークサービス、機器販売

東京証券取引所市場第二部への市場変更　～2016年 5月～

当社は東京証券取引所市場第二部へ市場変更いたしました。

これもひとえに、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様など、
多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社グループは、「人々のくらしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、
豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念のもと、
今後も皆様のご期待にお応えできますよう、更なる業容の拡大と企業価値の向上に
努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

２．中期方針および次年度計画

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

中期方針

経営理念	「人々のくらしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。」
ビジョン	アジアにおける流通ITのリーディングカンパニー(※)を目指す
戦略	流通ITでお客様の業績向上に貢献し、業績拡大させる

リテールソリューション事業戦略	業種業態別に、幅広く最適なソリューションを提供する（“お客様”を増やす！）
プロダクト事業戦略	No.1商品・サービス創出、他社製品の活用を含めて商品ラインナップを強化する（”武器”を増やす！）
グローバル事業戦略	中国・アセアンで、パートナーとの連携を強化し、日系企業の海外進出や現地小売企業の高度化を支援する（“市場”を開拓する！）
特定顧客事業戦略	業種および地域のトップ企業の情報システム部門として、売上向上と課題解決に貢献する（“お客様の中のシェア”を増やす！）
フィナンシャル事業戦略	カード事業および決済関連事業を拡大する（“事業拡大チャンス”を活かす！）
アウトソーシング事業戦略	お客様の多拠点展開とグローバル展開を支えるアウトソーシング基盤を整備する（“ストックビジネス”を増やす！）

※リーディングカンパニーとは

No.1のお客様（顧客基盤）、No.１の商品（武器）、No.１の規模と３拍子揃った主導的な企業

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

事業方針

**当社グループは、５つの事業方針に基づき、国内事業の拡大と
グローバル展開を加速し、事業の継続的な成長に努めてまいります。**

事業成長と安定的な収益基盤確立の両立

売上高の拡大　　**利益率の向上**

リテールソリューション事業方針

(1)製品戦略
自社製品強化と他社製品活用
による製品ラインナップ拡充
(2)市場戦略（成長市場）
POS事業の飛躍的拡大
(「ANY-CUBE Neo」、モバイルPOS 等)
専門店・専門店EC向け取組み強化
ITを利用したプロモーションサービスの
事業化
(3)技術戦略
AI活用による圧倒的な差別化実現
有望な技術の取込み強化
(ロボット、クラウド等)

グローバル事業方針

(1)**新規拠点の立上げ**
(2)**グローバルアライアンスによる
日系進出企業と現地企業の拡大**
(3)「MDware Global」の拡販

カード事業方針

(1)事業規模の拡大

特定顧客事業方針

(1)新たな特定顧客の拡大
専任組織による提案体制強化
(2)関東地方を中心として展開する
大手スーパー様向けＭＤ基幹システ
ムの事業拡大
(3) **当社MDの日本No.1小売業に
おける標準化の実現**

アウトソーシング事業方針

(1)**顧客の多拠点展開や運用効率化の支援等の事業拡大**
(2)各事業を支えるアウトソーシング基盤の確立(クラウド等)

経営基盤の強化方針

(1)**営業体制の強化による引合い・受注拡大**
(2)業務提携・資本提携による競争力強化と事業機会の拡大
(3)品質管理の徹底と品質の向上
(4)働き方改革による社員の士気とモチベーションの向上

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

2017年度数値計画 （連結）

VINX

多様化する業種業態別のお客様ニーズにお応えできるように、2017年度も当社の
強みであるPOS、MDを軸に、AI、ロボット、デジタルマーケティング、クラウド等の
成長分野に対する研究開発・投資を強化して参ります。
また製品化・新商品サービスを拡大し、同時に業務提携の推進および海外事業の拡大を
目指して参ります。

単位：百万円

2017年度 連結	通期			上期			下期		
	計画値	売上比	前年実績対比	計画値	売上比	前年実績対比	計画値	売上比	前年実績対比
売 上 高	27,500	–	100.3%	12,860	–	100.1%	14,640	–	100.4%
売上総利益	5,530	20.1%	107.3%	2,820	21.9%	109.2%	2,710	18.5%	105.5%
販売管理費	4,210	15.3%	109.5%	2,110	16.4%	111.9%	2,100	14.3%	107.3%
営業利益	1,320	4.8%	100.8%	710	5.5%	101.8%	610	4.2%	99.7%
経常利益	1,260	4.6%	101.3%	680	5.3%	102.8%	580	4.0%	99.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	860	3.1%	100.1%	450	3.5%	105.5%	410	2.8%	94.8%

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

新たな数値フレーム計画 （連結）

単位：百万円（百万円未満切捨て）

連　結	売上高		営業利益			経常利益			親会社株主に帰属する当期純利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2013年度（実績）	27,271	–	1,522	–	5.6%	1,509	–	5.5%	824	–	3.0%
2014年度（実績）	28,069	102.9%	1,558	102.3%	5.6%	1,757	116.4%	6.3%	981	119.1%	3.5%
2015年度（実績）	27,094	96.5%	1,443	92.6%	5.3%	1,386	78.9%	5.1%	805	82.0%	3.0%
2016年度（実績）	27,430	101.2%	1,309	90.7%	4.8%	1,243	89.7%	4.5%	859	106.7%	3.1%
2017年度（計画）	27,500	100.3%	1,320	100.8%	4.8%	1,260	101.3%	4.6%	860	100.1%	3.1%
2018年度（計画）	30,300	110.1%	1,500	113.6%	5.0%	1,430	113.5%	4.7%	1,000	116.3%	3.3%
2019年度（計画）	33,300	109.9%	1,800	120.0%	5.4%	1,700	118.9%	5.1%	1,220	122.0%	3.7%

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

当期及び次期配当の見通し

VINX

配当方針

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、
配当金につきましては、企業価値の向上とその水準の維持を可能とする範囲において、
事業拡大のための内部留保を勘案しながら決定することを基本方針としております。
内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のため新規事業及び
新製品の開発に対し有効に投資して参ります。

配当見通し

（単位：円，１株あたり）

	中間配当金	期末配当金	年間配当金合計	配当性向（連結）
2016/3期（実績）	10	10	20	22.0%
2017/3期（実績）	10	（※1） 10	20	20.6%
2018/3期（予想）	10	10	20	20.6%

※1：2017年5月10日開催の取締役会において決定の内容を表示しております。

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

【補足資料】Ｂ／Ｓおよび Ｃ／Ｆ

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

財政状況

＜貸借対照表＞

単位：百万円、%、 百万円未満切捨て

区分	2017年3月期末	構成比(%)	2016年3月期末	差額
流動資産	12,433	77.6	12,687	▲254
固定資産	3,598	22.4	3,268	329
＜有形固定資産＞	1,244	7.8	1,299	▲55
＜無形固定資産＞	1,093	6.8	835	257
＜投資その他の資産＞	1,260	7.9	1,133	127
資産合計	16,031	100.0	15,956	74
流動負債	5,677	35.4	4,877	800
固定負債	2,932	18.3	4,015	▲1,083
負債合計	8,609	53.7	8,892	▲282
純資産	7,421	46.3	7,064	357
負債・純資産　合計	16,031	100.0	15,956	74

【貸借対照表のポイント】

短期貸付金を回収したことにより、
長期借入金の返済と現預金の増加に
つながりました。
また製品投資の強化および政策投資を
実施いたしました。

＜前年度比の主な増減要因＞

・流動資産

現預金　11億87百万円増加

短期貸付金　19億34百万円減少

・固定資産

ソフトウェア　2億96百万円増加

投資有価証券　1億10百万円増加

・固定負債

長期借入金　10億30百万円減少

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円、百万円未満切捨て

税金等調整前当期純利益	1,238
減価償却費	920
その他	62
小計	2,222
利息、法人税等の支払額等	▲233
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,989
有形固定資産の取得による支出	▲276
無形固定資産の取得による支出	▲804
貸付けによる支出	▲225
貸付金の回収による収入	2,160
その他	▲68
投資活動によるキャッシュ・フロー	784
長期借入金の返済による支出	▲922
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	▲270
配当金の支払額	▲177
その他	▲79
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲137
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,187
現金及び現金同等物の期首残高	4,850
現金及び現金同等物の期末残高	6,037

【キャッシュ・フロー計算書のポイント】

投資活動として、貸付金の回収を行い、
製品投資の強化と投資有価証券の取得を
行いました。
また財務活動として、長期借入金の返済と、
子会社株式の追加取得を行いました。

キャッシュ・フロー全体としては、
現金及び現金同等物は11億87百万円の増加により、期末残高は60億37百万円となりました。

＜主な増減要因＞

・投資活動によるキャッシュ・フロー

貸付金の回収	21億60百万円増加
無形固定資産の取得	8億　4百万円減少
（製品投資・投資有価証券の取得）	

・財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済	9億22百万円減少
子会社株式の追加取得	2億70百万円減少

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.

本資料の取扱のご注意

VINX

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部　経営企画部
e-mail：ir@vinx.co.jp

Copyright © 2017 VINX CORP. All Rights Reserved.